



長久手町議会議員

佐野尚人 議会活動報告

みんなの目線で、みんなの声で、変えていきたい

トワイライトスクール長久手版

放課後子どもプランが実施に向けていよいよ動き出します。

平成19年6月議会から平成20年3月議会まで放課後子どもプランについて毎回一般質問しました。

Q(佐野). 名古屋市のトワイライトスクール等の取り組みが各地で行われているが、本町でも「放課後子どもプラン」などの取り組みはどうか。

A(教育部長). 今年の1月より計5回学校教育課等子ども関連部署にて検討したが、空き教室などがなく、学校施設が手狭なことが課題だ。

Q(佐野). 父母のニーズとしては、学校施設内で活動できるという安心感が一番重要だ。空き教室がなければ多目的教室など利用しながら柔軟な対応をしてはどうか。また早い段階から父母や地域の参加を求めるべきである。

A(副町長). まずは現状の課題を整理しその後協力をお願いしたい。

Q(佐野). 放課後子どもプランのその後は？

A(教育部長). 小学校の空き教室を利用するため先進地への調査を含めて検討をすすめている。

Q(佐野). 市が洞小の開校で南小で5クラス、西小で7クラス空き教室が出てくるがどのような利用をするのか。

A(教育部長). 放課後子どもプランを前提に前へと進めていく。

Q(佐野). 運営委員の内容はどのようなか？

A(教育部長). 学校の利用状況を聞いたうえで学校関係者やPTAにも呼びかけていきたい。

平成20年度 放課後子どもプラン運営委員会が始まります。長久手町独自のプランをどのようにするか運営委員の皆さんと行政とで話し合います。

平成21年度 放課後子どもプラン事業実施予定。

加藤町長への要望

昨年、長久手町では町長選挙がありました。候補者のなかで一番信頼できる実績がある現職、加藤町長を応援しました。多くの方から要望があったなかで、本町に必要なと考えた2つの政策を、任期中に実施してもらうよう要望しました。

政策1：放課後子どもプランの実施

女性の労働力が求められる現在の社会情勢のなか、パートなどで働くお母さんたちのサポートが充分ではありません。お母さんたちが安心して働くためには安全な放課後の子どもたちの居場所づくりが必要不可欠です。そのためにも名古屋市で実施されているトワイライトスクールのような本町独自の放課後子どもプランの早期の実施をお願いしました。



政策2：特別支援教育の拡充

本町には重度の障がいをもつ児童が通う学校がありません。したがって知的障がいの児童は三好の養護学校へ、肢体不自由な児童は小牧の養護学校へと通うことを強いられています。みなさん？考えてみてください？もしあなたのお子さんに障がいがあって、でも地域の学校には入れてもらえなくて三好や小牧へ行けといわれたら・・・子どももおとなもいろんなひとがいてひとつの社会です。助けあいながら生きていくのが社会だと思います。近所のみんが通っている学校へ自分の子も行かせたいと思うことってあたりまえの事ですよね。長久手町の学校がそんなあたりまえの学校になってほしいと思っています。

杵ヶ池公園東側交差点に減速の看板と路面の減速表示がつけました。

重点的にスクールガード活動をしている杵ヶ池公園東側交差点に減速表示がつけました。事故の多い交差点なのですが今まで減速表示がなく、地域の方や交通指導員さんからの要望を役場に働きかけ実現しました。少しでも事故が減って子どもたちが安心して横断できるようになればと思います。



4月 [町議会議員初当選]

応援してもらったスタッフはみなさん選挙を経験したことのない仲間のお父さん・お母さん達ばかり、手作りで支えていただきました。

5月 [立てこもり事件]

帰宅できずにいた母子を警察と交渉をし帰宅させてあげることもできました。なくなった警察官の葬儀にも感謝の気持ちをご遺族に伝えたく参列いたしました。

6月 [初議会]

一般質問では支援してもらった方たちの関心の高かったことを中心に質問しました。子育てや暮らしに密着した目線で問題点を捉えています。

7月 [参議院選挙や長久手町長選挙の応援]

昨年まではいかなる選挙にもほとんど関心がありませんでしたが、今年からはすべての選挙に関係ではいられなくなりそうです。政治は地方から国までつながっています。

8月 [町長選挙]

色々な理由から現職を応援しました。町長ともいろんな話をしました。結果、加藤町長が4選を果たしました。選挙で約束したことを4年間でしっかりと実行してもらいます。

・議会だより研修(東京)

9・10月 [9月議会]

一般質問では町長のマニフェストを再確認する意味においてマニフェストの中から自分が重点を置いている項目に対して質問をしました。

・尾張東部衛生組合の視察研修(神奈川・静岡)

11月 [新設小学校名検討委員会]

6月議会にては新設校区住民の方たちのご意見を聞き反対の立場をとりましたが、検討委員会で新設校区住民の方たちも委員に入られ、アンケートをとった上で決定された「市が洞」に賛成とする。市が洞古窯発掘の特別展などをみてこの長久手から飛鳥の都へつながる「市が洞」の名前の持つ意味を確認して伝えていきたいと思ひます。

・民生文教委員会の視察研修(長野)

12月 [12月議会]

今回の一般質問も住民のかたからお聞きした暮らしの中での要望を質問しました。今議会は「市が洞」校名、加藤町長集大成となるであろう役場の機構改革など議案も多く印象的な議会でした。

1月 [新年]

各種団体や多くの方とごあいさつしました。新たな気持ちで活動します。

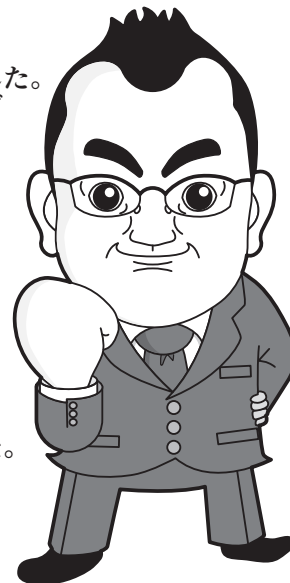
・給食センター会派視察

2月 [会派視察研修(高知)]

3月 [3月議会]

質問を続けてきた放課後子どもプランにたいして始動するとの返答を得ました。

・予算特別委員会



子どものいのちを守ること

2001年に大阪の池田小学校で8人の1・2年生の児童が学校のなかで殺されてしまいました。いつも楽しく通っていた学校に突然はいつか来た男に殺された子どもたち……。ほんとうに怖かったですよね。ほんとうに……。いまだにこの事件の一報を聞いたときのショックが忘れられません。議員になる前にPTAの役員をしていました。長久手町PTA連絡協議会の会長になったときのあいさつで「自分の任期中長久手町で校長先生や会長さんたちを決して悲しい席に出させない。」と誓いました。その思いをこめて「地域で守ろう子どもたち」というステッカーを防犯協会につくってもらいました。いまでも自転車や車に多くのPTAのかたが貼ってくださっています。南小学校のPTA会長になったときもスクールガードを必死に推進してきました。二度と子どもたちに怖い思いをさせないために！

また一方で自分を産んでくれた親に殺されてしまう子どもたちがいます。私に初めて子どもが生まれたときのことを決して忘れません。私はよるべなきこの小さな手を自分の命を懸けて守ると誓いました。しかし、大変悲しいことですが、頻りに親の虐待によっていのちをなくす子どもたちのことが報じられます。でも亡くなった子どもたちはそのいのちが絶える寸前までその親を信じていたと思います……。

子どものいのちを守ること
このことに一生懸命取り組んでいきます。

政策グループ”楓”

所属会派 政策グループ”楓”の紹介をします。
みなさん地域にしっかりと根ざした活動をしている方たちばかりです。
議会で最大多数派の力を生かして、政策をしっかりと実現していきます。

吉田 日勝(代表) 65歳 3期目
議会や地域の重鎮です。

伊藤 祐司 50歳 2期目
元役場職員 議会と役場の両方に詳しく
僕ら新人議員の先生役です。

加藤 和男 55歳 1期目
見た目も中身も優しい方です。

川合 保生 57歳 4期目
平成19年度議長 政治に精通しています。
一見むつかしそうですが優しい方です。

丹羽 茂雄 50歳 2期目
兄貴分的な存在です。

青山 頼人 54歳 1期目
棒の手の師匠。
よく相談にのってもらっています。



みなさんの抱える日々の暮らしの中での
疑問やお願い、困り事
を聞かせてください。

メールはこちらへ
✉ nagakute@sano-naoto.com

電話・FAXはこちらへ
☎ 0561-61-2085